

大切なお知らせ



南阿蘇村行財政改革計画（令和8年度～令和12年度） 子や孫の世代へ、続く村を託すための「決断」と「創造」



〈問い合わせ〉総務課 ☎0967 (67) 1111

お知らせ

村では令和2年度に策定した5か年計画が期間満了を迎えるにあたり、新たに令和8年度から12年度までを期間とする「次期行財政改革計画」を策定しました。

本計画は、事務局による素案をもとに「南阿蘇村行政改革推進委員会」へ諮問を行い、専門的な審議を経た答申や各委員からの貴重な意見を最大限に反映して取りまとめた、未来への責任を果たすための羅針盤です。

財政の現状・自由に使えるお金はわずか「4・6%」

村の財政の弾力性を示す「経常収支比率」は令和5年度で95・4%。人件費や借金返済などの義務的経費を除き、村が独自施策に充てられる「自由に使えるお金」は年間約2・7億円（全体の4・6%）にまで絞られています。この現状を打破するため、人件費の最適化や民間委託を推進し、捻出した財源を「子育て・教育・移動手段」へ大胆に再配分（付け替え）していきます。

180超の公共施設を「負債」から「資産」へ

新たなハコモノ建設は行わず、既存施設をエリアごとの役割で使い分ける「戦略的ゾーニング」を推進します。

■**子育て・教育環境の再構築**：園児減少や老朽化に対し「あり方検討委員会」で抜本的に協議。給食費補助や英語検定費用の公費負担など、ライフステージ別の支援をデジタルで「見える化」し、必要な支援が確実に届く体制を整えます。

■**自然を活かした遊び場**：施設跡地などを活用し、南阿蘇の自然素材や地形を活かした児童公園を整備。行政任せにせず、地域住民と協働で維持管理を行う持続可能な交流インフラを目指します。

■**公共施設の最適化**：3施設すべてが赤字のパークゴルフ場を1カ所へ統合するほか、駅舎等の民間活用（ブローカー方式）を進め、賑わいと雇用を生む「資産」へと転換します。

■**公平な負担への転換**：上下水道料金の改定検討や村設置型浄化槽の譲渡により、受益者負担の不公平を解消し、将来の財政リスクを軽減します。

地域資源を「誇り」と「財源」に変える

■**ふるさと納税「20億円」への挑戦**：野焼きや水源保全といった南阿蘇の営みを「生きた物語」として発信。共感を財源に変え、重点施策へ活用します。

■**稼ぐ観光・農業戦略**：通過型から「滞在型」観光へ転換し、村内を自在に動ける二次交通網を整備。農業では、有機農産物の栄養価を数値化するなどの「科学的根拠」を用いたブランド化を推進し、生産者の所得向上を図ります。

■**暮らしの基盤づくり**：デジタル技術を活用した「南阿蘇型流通モデル」により、買い物弱者や免許返納後の移動の自由を確保。新旧住民が共に村を創るパートナーとなる定住環境を整えます。

20年後の南阿蘇を、皆さまとともに

DX（デジタルトランスフォーメーション）の本質は、単なる省力化ではありません。職員を事務作業から解放し、対話や課題解決といった「現場の仕事」に注力させることにあります。

本計画の最終目的は、村民の皆さんの幸福（ウェルビーイング）の最大化です。改革によって生み出した余力は、子どもたちの笑顔や安心な暮らしへと確実に還元していきます。20年後、南阿蘇で育った子どもたちが「この村に住み続けたい」と心から思える未来を、今、一丸となって築いていきましょう。